

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成28年7月号

自治保存会育成事業視察研修に行ってきました！！

7月6～7日、合掌保存財団が主催するみだしの研修会に参加しました。今回の主たる目的は『外国人観光客対応』について学ぶ。1日目は、観光及び文化財保護の先進地である京都市にて、京都市役所産業観光局を訪問。2日目は、昨年修復作業を終えた世界遺産姫路城と、洋風異人館の町並みを残す神戸市北野町山本通重伝建地区を視察しました。今回は18名が参加。守る会委員以外にも、観光業に携わる女性陣が多くご参加くださいました。帰郷が夜11時を過ぎるバスの中で、参加者全員より感想ご意見をお寄せ頂きましたので、以下にまとめ研修報告とさせていただきます。 [文責:和田]

◎京都市産業観光局

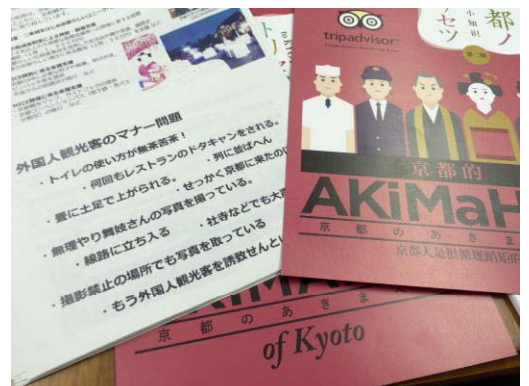
- ・白川郷と京都。規模の差はあっても、外国人対応、ゴミ問題、交通対策等悩みの部分は共通していることを実感した。
- ・昭和31年制定の京都市住民憲章に「旅行者をあたたかくむかえましょう」の文言が。荻町も原点に戻り「おもてなしの心」を京都に学ぶべきであると感じた。
- ・現在の京都市観光復興計画が目指す姿は「世界があこがれる観光都市へ」。志高く旅行者と住人が快適に過ごせる環境をつくろうとされている姿に共感した。
- ・案内表示の統一されたデザイン、文化財との調和、宿泊者や国際会議の誘致、行政と民間企業・大学との連携といった、京都市レベルの観光戦略がしっかりしている。
- ・外国人観光客へのマナー啓発の取り組みとして、「京都ノトリセツ」や外国人留学生の目線で作成したマナーパンフの開発、多言語表示でなく図案によるサイン看板の設置、WebやSNSによる拡散、フリーペーパーの活用等、多くのヒントをいただいた。できることからすぐ実践に。
- ・現在白川で活用中のトイレの外国人向け使用案内の図案。京都市さんが他のデザインを含め、必要な観光地に無償提供くださっていることに心より感謝。加えて国に対して、海外観光客誘致施策と並行した外国人対応に関する支援を各観光地・自治体が一体となりお願いする必要性を実感。
- ・トイレがとてもきれい。洋式トイレのフタ無しはいいアイデア。ペーパーは小さめでよく回り使いやすかった。

◎世界遺産姫路城

- ・シルバーによる有料ガイドをつけて見学したが、小ネタと専門的な話も交えながら、姫路城を堪能。修復した白漆喰



[京都市役所にて勉強会]



[右が京都ノトリセツ「あきまへん」]



[姫路城について語るガイドさん]

は年々くすぶりを増すので、この白く輝くお城は今しか見ることができない貴重な景観との事であった。

- ・ガイドの知識の深さや話上手に感激。白川はもっと案内人を増やす必要があると感じた。地元の人とのふれあいが大事。話を聞きながら回ることで、よさが2倍にも3倍にも。
- ・姫路城の美しさもさることながら、先人の知恵や技術に脱帽。それは合掌にも言えることであり、両方ともピラミッドにも劣らない世界遺産。だからこそ、しっかり守りたい。
- ・毎月10日に、地域住民や学校が参加した清掃活動を実施しているとの事。多くの支えがあって今があることを痛感。

◎北野町山本通伝建地区

- ・神戸市教育委員会の豊島さんより、同伝建地区の歴史的背景と現状を。保存会長の森田さんからは、同地区を愛する熱い想い、守るための住民組織づくりへのご苦勞、次代へつなぐための歴史アーカイブ作成の必要性を学んだ。
- ・伝建地区の活用として、良好な住宅地としての活用に触れることができた。洋館のペンキが10年で塗り替えを必要とするご苦勞に驚いた。それでも文化財を守り住むことを誇りに、今を頑張る住民の想いに感激した。同時に保存と後継者につなぐ努力という課題を共有できた。
- ・歴史アーカイブの話から、次代を担う子どもたちへの「郷土を知り郷土から学ぶ学習」の重要性を感じた。

◎その他

- ・世界遺産白川郷は今を生きる荻町住民だけのものではないことを、私たちは自覚しなければいけない。先人先輩、行政や他地区の村民の支援、来訪者等全への感謝を忘れず、未来へつなげよう。
- ・素晴らしい研修を企画くださった合掌財団に心より感謝。次回もぜひ参加したい。 [以上、参加者より]



[保存会長森田さんよりお話を]



[洋風異人館の町並み]

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

= 6月の活動報告 =

- 6月 1日 柿崎先生講演（荻町公民館 会長）
- 6月 2日 荻町交通対策委員会
- 6月 9日 5月定例会・役員会
- 6月 10日 白川郷自然共生フォーラム理事会（会長）
- 6月 11日 ねそ6月号配付
- 6月 18日 西村幸夫町並み塾 in 日用（小松市 会長）
- 6月 24日 世界遺産合掌保存財団評議員会（会長）

※ 8月の定例会は9日(火)、公民館にて開催を予定しています。

◎区民の皆様へ……建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんのご理解ご協力をお願い致します。

☆7月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

****……自宅エアコン取り替え

****……本屋解体

****……看板改修

白川村……旧藤坂家住宅休憩所木造看板設置

****……木造建物解体

****……2階窓取り付け

緑地資源開発公社……支障木の伐採等

白川村……荻町バスターミナル車庫屋根改修